

八戸市道路緊急修繕方針

1. 目的

経年劣化や冬期間の凍上を原因とした、道路破損に伴う自動車損害賠償件数が増加してきていることから、短期集中的に道路の全面的修繕を実施し、道路利用者の安全・安心な通行を早期に確保することを目的としています。

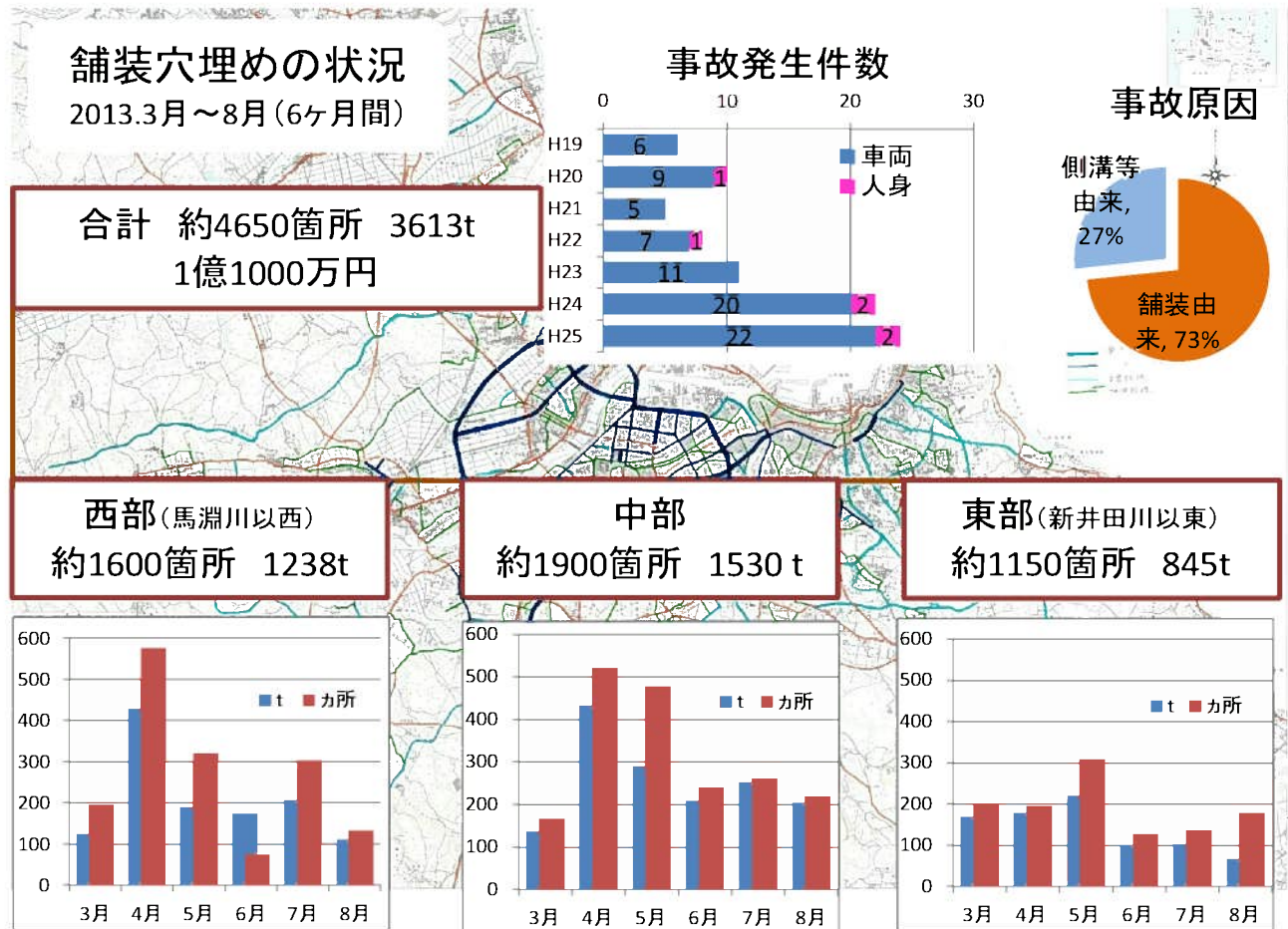
2. 道路維持の現状

当市では、市道1,486kmのほかに市道認定外の道路を含めて2,000km以上の道路を管理しています。

これらの道路においては、職員による週3回の道路パトロールや市民からの情報提供を受け、破損箇所の早期発見・早期補修に努めているところです。

しかしながら、早急に対応できる舗装補修は破損箇所周辺に限定した部分的で簡易的な補修となることから、長期間の耐久性を期待できず、再度の破損→応急復旧→部分的補修を繰り返すことも少なくありません。

このような中で、修繕予算も限られているため応急復旧を繰り返しても、道路破損等を原因としたタイヤのパンクや、振動等の苦情が減少していかない現状であります。



3. 修繕の基本方針

そこで八戸市では、基本方針の基に短期集中的に舗装を再生したいと考えています。

- ①道路ストックの現状の正確な把握
- ②劣化・損傷の進んだ道路を健全なストックへ再生

現在の状態		
ステージ I	健全	33% 680km
ステージ II	当分の間は 部分補修でOK	35% 730km
ステージ III	まもなく 全面修繕が必要	17% 350km
ステージ IV	今すぐ 全面修繕が必要	15% 330km

短期間(5~10年)で重点的に再生

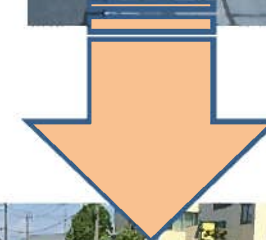
- ・舗装の再生(全面修繕)
ステージIVをまず再生(打換)
- ・着実な路面修繕・補修
切削オーバーレイ/穴埋め
- ・予防保全
舗装の長寿命化対策

近未来

健全度の
高い割合が
増

10%以下

10%以下



4. 最終目標

- ①修繕履歴を記録し、持続可能なアセットマネジメントの運用
- ②アセットマネジメントの運用に必要な、人・知識・技術の養成
- ③新規ストックは、アセットマネジメントを十分に意識し、しっかりとしたものを造る